

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-001

PDCA	事務事業名	男女共同参画社会推進事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当	担当	富田		
					内線等	238		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第3節 共生社会の形成						
		基本施策： 1. 男女共同参画社会の実現						
		単位施策： (1) 共同参画意識の醸成と参画しやすい環境づくり						
	根拠法令等	半田市男女共同参画推進条例						
	対象・目的	男女共同参画社会を推進するため、市民の男女共同参画への理解促進を図る。また、第2次半田市男女共同参画推進計画を着実に遂行するため、各施策の進捗状況の把握・検証を行う。						
	目的を達成するための手段・活動内容	男女共同参画の理解促進のため、市民講座、職員及び教職員研修を開催する。 市民団体が実施する啓発事業を支援するため補助金を交付する。 男女共同参画推進計画の進捗を管理するため、有識者、市民等で組織する審議会を開催する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①啓発事業数		8	6	3	回	
		②男女共同参画審議会開催回数		3	3	3	回	
		③職員及び教職員向け研修会受講者数		120	120	0	人	
		事業費		878	705	283	千円	
		人件費		2,626	2,611	1,988	千円	
		総事業費		3,504	3,316	2,271	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①職員及び教職員研修に係るコスト		625	625	0	円		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値	1,050	1,213	2,018	名	
			目標値	900	900	1,000		
		実績値						
		目標値						
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある	
	事業の評価・課題	C						
		男女共同参画の啓発では、LGBTパネル展や男女共同参画に関する標語募集に加え、楽しみながら参加できるよう新たにクロスワードを実施し理解促進に努めた。また、第3次男女共同参画推進計画策定に向けた進捗状況調査等を行い、現計画の評価及び次期計画で重点的に取り組むべき課題を整理した。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		男女共同参画の理解促進を図るため、引き続き研修や啓発事業を展開するとともに、動画配信やWeb研修会など、コロナ禍における新たな手法を取り入れた啓発活動に取り組む。第2次男女共同参画推進計画の成果と課題を始め、女性活躍やLGBTの視点を取り込んだ次期計画を策定する。						
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位		
		市職員対象男女共同参画講座受講率			100	%		
		各男女共同参画社会推進事業参加者数			900	名		